

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名 科目ナンバー	保育内容総論 Ⅲ-6-2-3		教員氏名	久保 小枝子	
学年	2年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	幼稚園教諭	26年
テーマ	保育内容の全体像を掴み、環境を通しての教育、遊びを通した総合的指導を子どもの姿とつなげて理解する				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	環境を通しての教育、遊びを通した総合的指導を具体的な映像、事例などから学習する。併せて、指導計画の考え方、立案、評価、改善について学び、総合的な指導ができる力が身につくようにする。幼稚園教諭の経験を活かし、子どもの実際の園生活の姿とつなげて理解できるように促す。				
授業の到達目標	1.2017年改訂された幼稚園教育要領等、保育のガイドラインの内容を説明できる。				
	2.子どもの育ちに即した保育計画を立案し、実施、評価、改善できる。				
	3.環境構成や保育者の役割などから保育を総合的に指導するための討議ができる。				
テキスト	『改訂 保育内容総論』入江礼子・榎沢良彦編著 建帛社				
参考書	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」				
ポートフォリオ					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT(Googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題参加度 出席態度等	100%	レポート(40%)、発表(30%)、授業に臨む姿勢(30%)		
	その他				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション(シラバス、評価について)現代社会における保育の課題	
	授業外学習	(事前学習)テキストp.1～15を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第2回	テーマ 内容	遊びと保育内容(ディベート)	
	授業外指示	(事前学習)テキストp.21～40を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第3回	テーマ 内容	保育内容の変遷と現代の保育内容	
	授業外指示	(事前学習)テキストp.41～55を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第4回	テーマ 内容	保育内容と計画	
	授業外指示	(事前学習)テキストp.57～73を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第5回	テーマ 内容	幼稚園で展開される生活と保育内容(グループワーク)	
	授業外指示	(事前学習)テキストp.75～112を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第6回	テーマ 内容	制作活動の計画指導案	
	授業外指示	(事前学習)責任実習で実践する活動内容を考える調査学習 (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第7回	テーマ 内容	制作と計画指導案の発表(ロールプレイ)	
	授業外指示	(事前学習)制作物をつくる (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第8回	テーマ 内容	保育所で展開される生活と保育内容(グループワーク)	
	授業外指示	(事前学習)テキストp.113～134を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	幼保連携型認定こども園で展開される生活と保育内容(グループワーク)	
	授業外指示	(事前学習)テキストp.135～164を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分

第10回	テーマ 内容	諸外国の保育①ドイツのフレーベル・ペスタロッチ幼稚園の保育環境	
	授業外指示	(事前学習)配布資料を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第11回	テーマ 内容	諸学国の保育②イタリアのレッジョ・エミリアの保育実践	
	授業外指示	(事前学習)配布資料を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第12回	テーマ 内容	諸学国の保育③スウェーデンの障がい児グループホームの保育者の連携	
	授業外指示	(事前学習)配布資料を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ	
	授業外指示	(事前学習)要点をノートにまとめる	55分

課題に対するフィードバックの方法

発表や提出課題は、授業時に口頭、プリントにてフィードバックを行う。

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容総論		教員氏名	幸喜 健	
科目ナンバー	Ⅲ-6-2-3				
学年	2年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	保育士	3年
テーマ	保育内容5領域の総合性、保育における環境や遊びの意味を理解し、保育者の役割と援助について実践的に学びを深める				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等に示されている保育の基本、領域の考え方を学ぶ。保育の歴史の変遷を学び、保育内容について理解する。また、具体的な保育実践の展開を通して、子どもの発達の特長やプロセスを学び、あわせて多様なニーズに応じた保育の課題についても理解を深める。				
授業の到達目標	1. 幼稚園教育要領及び保育所保育指針に示されている保育内容の全体構造がわかる。				
	2. 総合的な指導の展開について理解し、多様な保育援助のあり方の基礎を習得する。				
	3. 多様な保育ニーズを理解し、地域や家庭に対する保育者の役割に気づく。				
テキスト	江津和也・幸喜健編著「グループワークで学ぶ保育内容総論」大学図書出版、2019年				
参考書	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領				
ポートフォリオ	なし				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グループワーク含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	60%	授業への参加意欲・態度(30%)、授業内の発表(30%)		
	その他	40%	単元ごとのレポートもしくはそれに代わる提出課題		

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	講義概要と趣旨説明(オリエンテーション) 保育内容とは何か―指針・要領等における位置づけの理解―	
	授業外学習	(事前学習)教科書(第1章 第1節「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」と保育内容の理解)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第2回	テーマ 内容	保育内容と子ども理解	
	授業外指示	(事前学習)実習中にあった「どうすればよかったのかな?」という子どもとの関わりのエピソードをワークシート(授業内で配布)に記入する (事後学習)子ども理解と望ましい発達の援助について要点をノートにまとめる	55分
第3回	テーマ 内容	保育内容における遊びの意味	
	授業外指示	(事前学習)具体的な遊び場面における子どもの姿を取り上げ、そこで理解したことをワークシート(授業内で配布)に記入する (事後学習)遊びを通した総合的な指導について要点をノートにまとめる	55分
第4回	テーマ 内容	保育の歴史の変遷と保育内容	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第1章 第2節 わが国における保育の内容の歴史の変遷)を読む (事後学習)保育内容の歴史の変遷について要点をノートにまとめる	55分
第5回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開①―領域「健康」の視点から―	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第1節 領域「健康」の視点から)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第6回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開②―領域「人間関係」の視点から―	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第2節 領域「人間関係」の視点から)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第7回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開③―領域「環境」の視点から―	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第3節 領域「環境」の視点から)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第8回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開④―領域「言葉」の視点から―	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第4節 領域「言葉」の視点から)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開⑤―領域「表現」の視点から―	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第5節 領域「表現」の視点から)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分

第10回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開⑥—総合的な視点からの展開—(幼児期の終わりまでに育って欲しい姿、幼小接続期教育を含む)	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第6節 総合的な視点からの展開)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第11回	テーマ 内容	カリキュラム評価とカリキュラムマネジメントの考え方	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第4章 保育の計画と評価)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第12回	テーマ 内容	保育の多様なニーズに対応する展開(ICT機器の活用を含む)	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第3章 保育の多様なニーズに対応する展開)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ これまでの学びを振り返る	
	授業外指示	(事前・事後学習)これまでの学びを振り返り、授業内で作成したワークシートやノートを整理する	55分

#### 課題に対するフィードバックの方法

発表や提出課題に対するフィードバックは、授業時に口頭で行うほか講義プレゼンテーション資料にて提示する。